

沖縄県新型コロナウイルス感染症発生動向報告

沖縄県疫学統計・解析委員会

【現状】

新規陽性者数・実効再生産数

沖縄県における先週（9月27日-10月3日）の新規陽性者数は、322人（先々週621人）でした。沖縄本島（周辺離島を含む）における週あたりの実効再生産数(R)は0.41（95%CrI:0.36, 0.46）（図1）、このうち那覇市の実効再生産数(R)は0.30（95%CrI:0.23, 0.37）でした。また、宮古は1.17（95%CrI:0.67, 1.79）、八重山は1.01（95%CrI:0.51, 1.71）でした。

年代別推移

年代別では、10歳未満と10代とが56人（17%）と同数で並んで最多であり、20代47人（15%）、30代44人（14%）と続きます（図2）。昨年3月以降、初めて10歳未満と10代が最多となりました。週あたりの推移をみると、高齢者が低く抑えられている一方で、未成年の占める割合の上昇が続いています（図3）。

幼年・若年層

学校別では、保育園・幼稚園児14人（先々週15人）、小学生43人（先々週63人）、中学生9人（先々週30人）、高校生12人（先々週13人）、大学生2人（先々週3人）、専門学校生1人（先々

週4人）でした。保健所による疫学調査によると、小学生の新規陽性者の推定感染経路は、家庭25人（58%）、学校3人（7%）、友人・知人2人、部活1人、その他、不明・調査中12人（28%）でした。学校が再開された後も、感染経路としては家庭内と推定される事例が多くなっています。

保健所管轄区域別推移

保健所管轄区域別（7日間合計）では、北部27人（先々週47人）、中部115人（先々週181人）、那覇市61人（先々週158人）、南部92人（先々週215人）、宮古15人（先々週14人）、八重山10人（先々週6人）でした（図4）。

渡航者関連

先週の新規陽性者のうち、疫学調査で渡航歴を認めた者は1名のみで、県外からの渡航者でした。

入院患者数推移

入院患者数は、先週末（10月2日時点）で146人（9月26日時点284人）と減少しています。酸素投与など中等症患者126人（9月26日時点245人）、気管挿管など重症患者3人（9月26日時点7人）と、いずれも減少しています（図5）。

【今後の見通し】

沖縄県では、全域において新規陽性者数が減少傾向にあります。今週の新規陽性者数は、再生算数の推定結果を考慮すると、さらに減少して170-220人に至ると推定します（図6）。

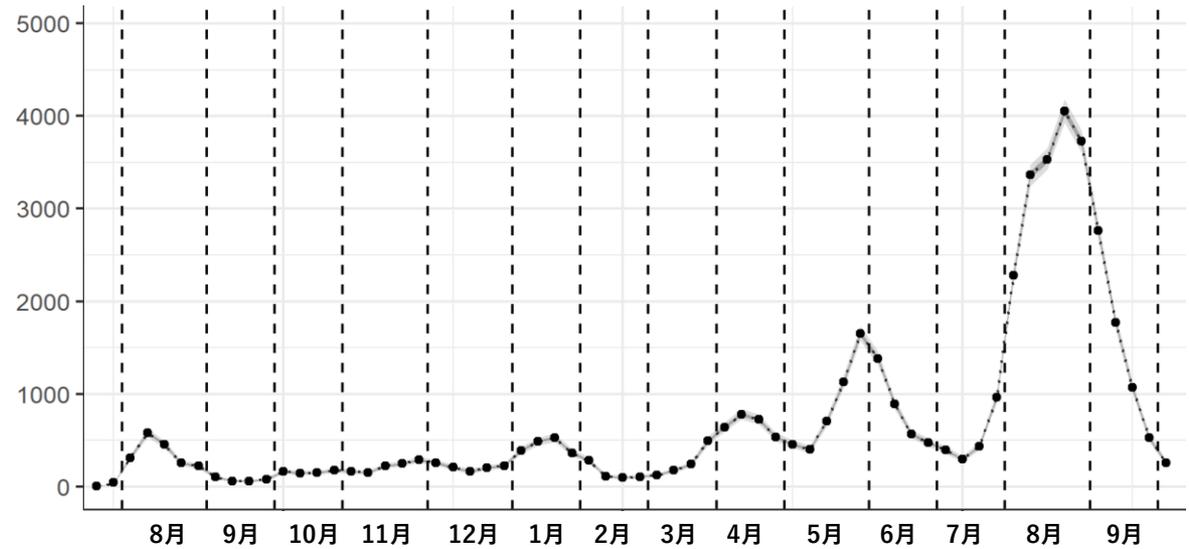
また、今週末までに入院患者数は100人以下へと減少すると見込まれます（図6）。

図1 陽性者数の推移と実効再生産数（北部、中部、南部）

陽性者数（確定日）

週あたり観察値

北部、中部、南部医療圏
（宮古・八重山を除く）



実効再生産数

週あたり推定値

北部、中部、南部医療圏
（宮古・八重山を除く）

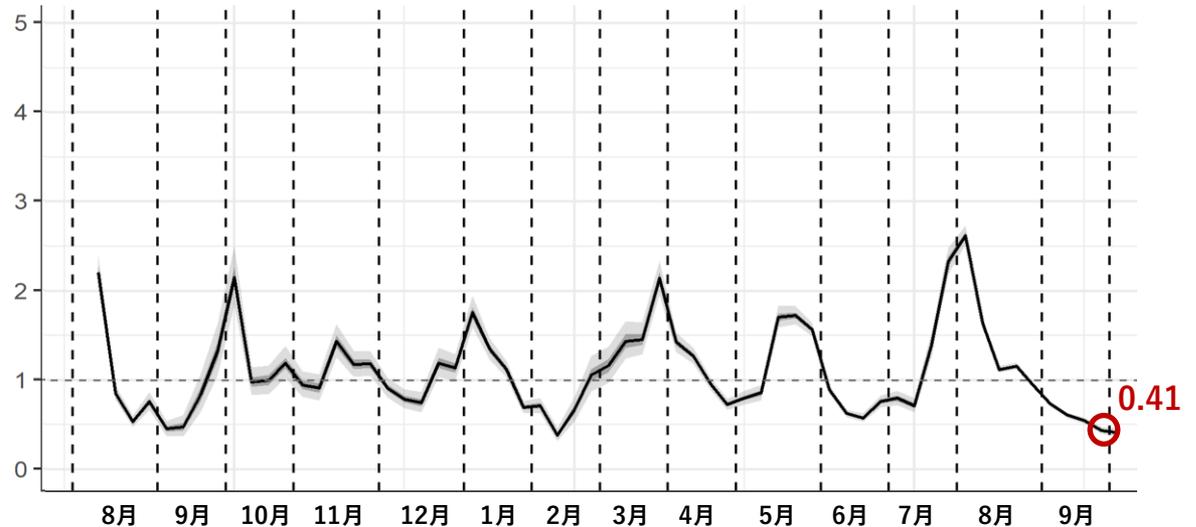


図2 性年齢階級別に見る陽性者数 (9月27日~10月3日)

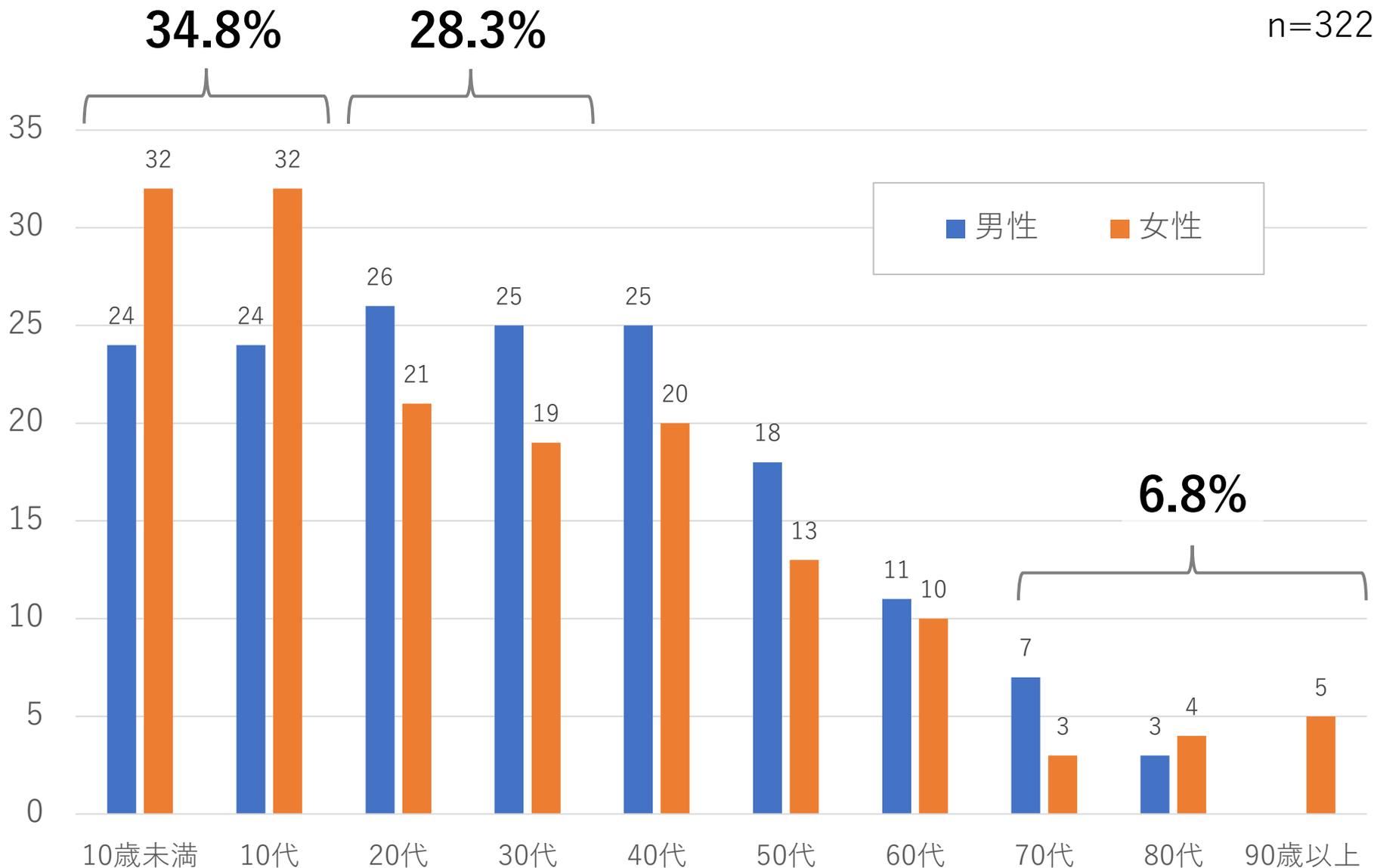


図3 年齢階級別陽性者数の推移 (週あたり)

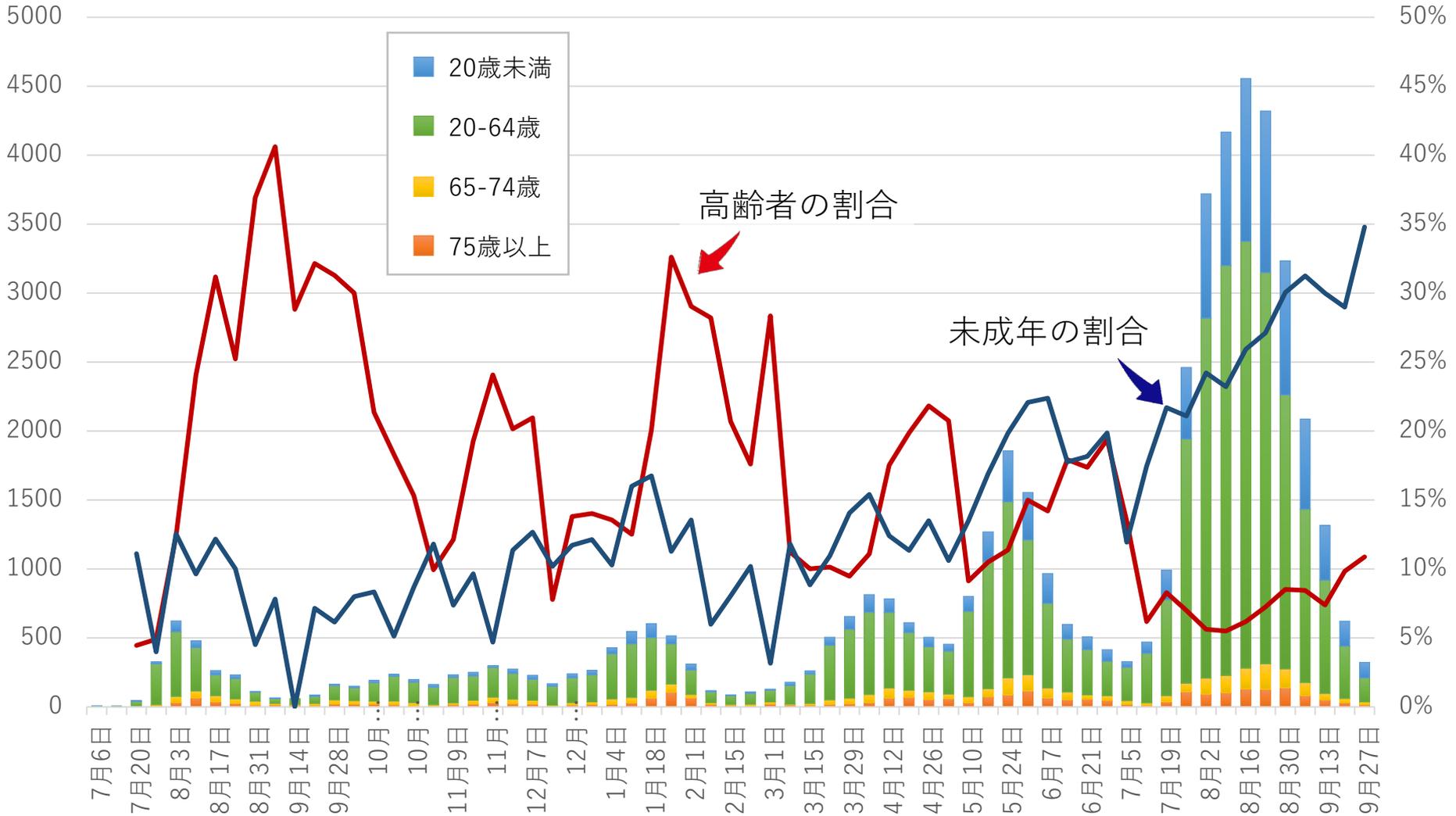


図4 保健所管区別に見る新規陽性者数の推移

人口10万人あたり7日間合計

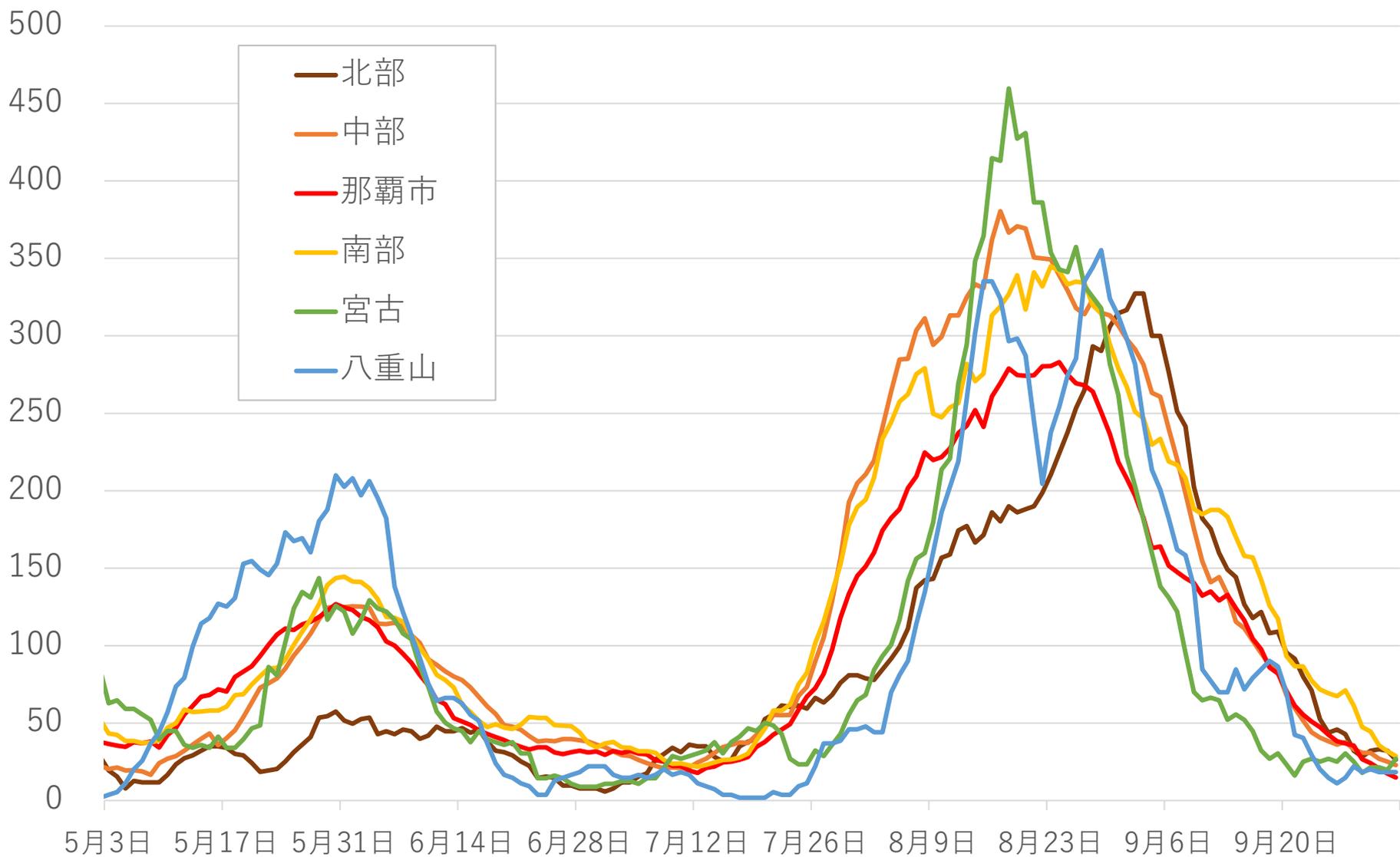


図5 新規陽性者数および重症度別入院患者数

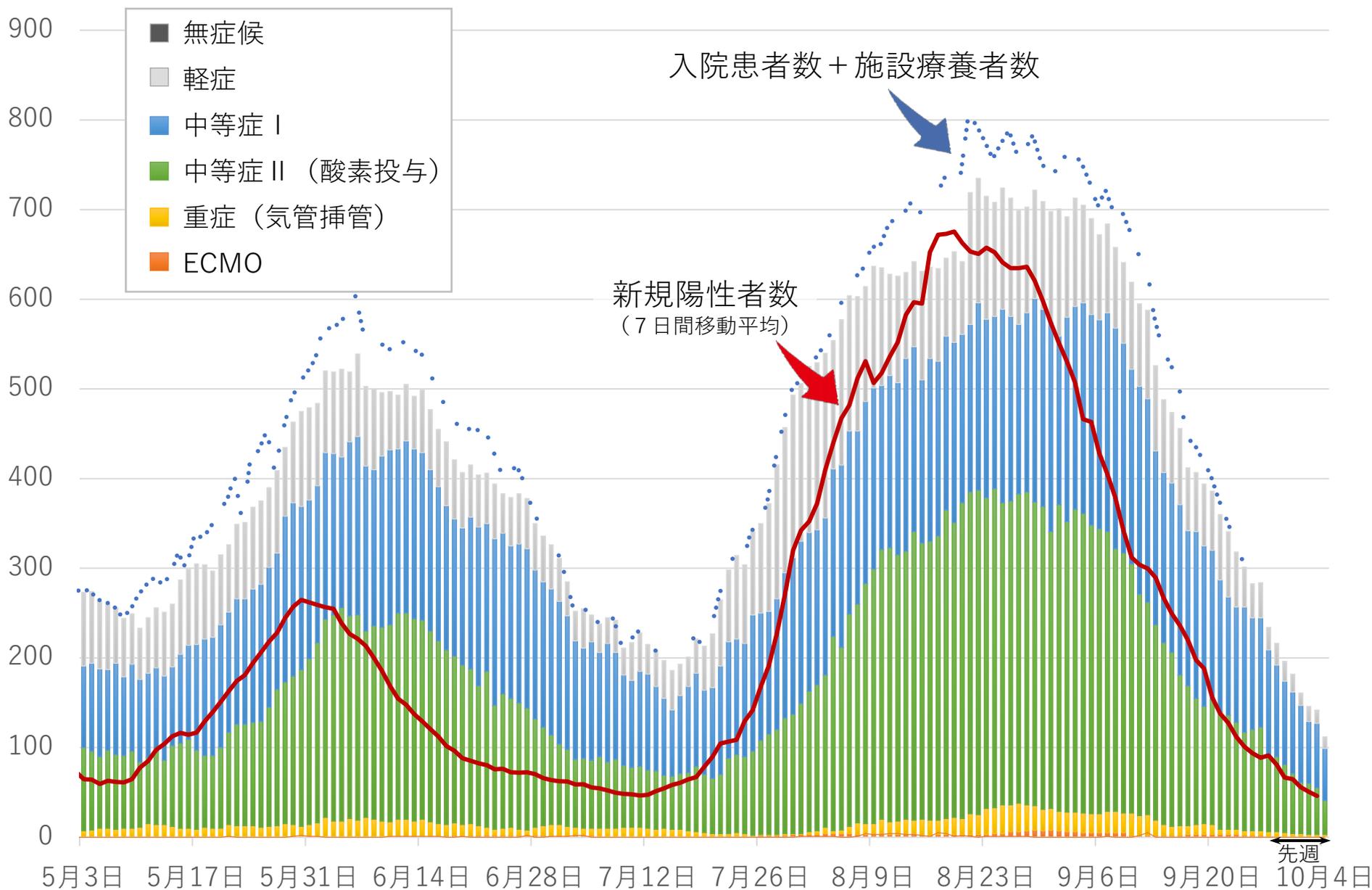


図6 今後1週間（10月4日-10日）の発生見込み数

分析データ： 新規陽性者数、年齢群別・医療県別入院率； 沖縄県
 年齢群別重症化率； 厚生労働省
 平均期間（入院・重症）； HER-SYS

	新規陽性者数（確定日）			入院患者数※			重症患者数※		
	0.5	1.0	1.5	0.5	1.0	1.5	0.5	1.0	1.5
実効再生産数	0.5	1.0	1.5	0.5	1.0	1.5	0.5	1.0	1.5
北部	16	33	66	12	14	17	0.2	0.2	0.4
中部	63	126	254	30	37	47	0.7	1.0	1.5
那覇市	34	69	139	24	28	33	2.2	2.3	2.6
南部	51	102	205	33	38	45	0.4	0.6	1.0
宮古	5	11	22	2	3	4	0.1	0.1	0.2
八重山	5	10	20	4	5	7	0.2	0.2	0.3
合計	174	351	707	107	125	154	4	5	6

※ 10月10日時点の見込み数